

1万5000人、健脚競う

第2回水戸黄門漫遊マラソンが29日、水戸市三の丸1丁目の県三の丸庁舎広場をメイン会場に開かれる。千波湖や偕楽園公園などを巡る42.195キロの「フルマラソン」を中心に、「5キロ」「2キロ」の計3部門で国内外からエントリーした約1万5000人が健脚を競う。

号砲はフルが午前9時、5キロが同9時半、2キロが同10時。いずれも同市南町2丁目の国道50号からスタートする。2キロは泉

水戸マラソン、あす号砲

町3丁目西交差点、5キロは田鶴鳴橋手前で折り返し、スタート地点付近でゴール。フルは県庁前やケーズデンキスタジアム水戸前などを走り、メイン会場に設定されたゴールを目指す。

ゲストランナーは昨年に引き続き、増田明美さんと谷口浩美さん、平塚潤さんを迎える。また、28日午後4時から、県三の丸庁舎広場でゲストランナーによるトークショーやグルメイベントなどの前夜祭も行われる。



笠間の企業寄贈 完走者にバッジ

2キロ、5キロ部門

29日に水戸市で開かれる「水戸黄門漫遊マラソン」を盛り上げようと、総合エネルギー会社のサンライフコーポ

レーション（笠間市）は26日、2キロと5キロの部門を完走したランナーに贈る記念バッジ約3500個を製作し、市に寄贈した。

バッジは直径約4センチ。各部門の距離数と市のマスコット「みとちゃん」をあしらったもので、2キロと5キロの完走者全員に贈られる。フルマラソンの部の完走者には、記念品として市が印籠型メダルを贈る。

高橋靖市長は「昨年に引き続き、ご寄付いただきありがとうございます」と感謝。同社の野口利明統括管理部長は「地元企業として地域貢献を続けた」と語った。

缶バッジを寄贈したサンライフコーポレーションの野口利明部長（右）＝水戸市中央